

杉並区立荻窪小学校 学校運営協議会だより

R3. 5. 21

令和3年度 第2回 学校運営協議会報告

今年度第2回目の学校運営協議会が、5月19日(水)に行われましたので、お知らせいたします。

日時 5月19日(水) 10:00～11:30

場所 荻窪小学校 荻小ホール

会議内容

- ① 佐野会長 あいさつ(感染症予防に努めた生活についてなど)
- ② 西脇校長 あいさつ(学校の様子、今年度の予定など)
- ③ 協議
 - ・学校教育活動における感染症対策について
 - ・今年度のCSとしての活動について
 - ・委員会研修テーマについて

緊急事態宣言延長となり、運動会を延期したことや今後の予定(授業参観・地域班集会、富士学園移動教室、水泳指導)などについて報告しました。そして、今後も安全第一に努めた教育活動を行っていくことを確認しました。

荻小のエコシステム機能について

今年度のCSとしての活動について協議する中で、荻小のエコシステムについてもっと多くの方に知ってもらうことはできないかということが話題となりましたので、一部紹介します。

○校舎の木質化→木を使うことで、山(人工林)にヒトの手が入り、健全な木の育成や山の生態系・防災機能の保持につながる。

○屋上緑化・屋根緑化・壁面緑化・小校庭の芝生

→植物の蒸散作用により温度上昇を防ぎ、ヒートアイランド現象の緩和に貢献する。

○ナイトパージ→小窓を空けることにより、自然換気が効率よく行われる。

○太陽光発電→太陽光を太陽電池にて直接的に電力に変換する。屋上と最上階の底に設置している。

○クールヒートトレンチ

→建物の取入外気を地中熱より夏期は予冷、冬期は余熱を行うために設けられている。

○バルコニー→底の代わりを果たし、夏季の直射日光を遮蔽するため、室内の気温が上昇しにくくなる。

○荻小の森・敷地周囲緑化→校舎新築前の敷地にあった緑を保存しており、旧校舎敷地にあった草花はPTA・教職員が丁寧に移植したもの。校舎周辺が高温になるのを防ぐ。

○ビオトープ→池の深さの異なる箇所を作り、水辺を好む植物を植えるなどで水中の生きものが暮らしやすい環境をつくっている。

○雨水利用→約20tもの雨水を貯水することができ、緑化部分への散水やトイレの洗浄水に利用している。



6年生オープンスペース前に「荻窪小エコマップ」を掲示しています。

次回の予定

6月18日(金)、10:00～11:30

文責：副校長 加藤

※今年度よりこの「学校運営協議会だより」をホームページにアップしています。

ペーパーレス化を目指し、来月以降は紙面配布をしないことにします。どうぞご理解ください。